

2026年度 第33回全国クラブチームサッカー選手権大会 四国大会 実施要項

- | | | |
|----|-------|---|
| 1 | 名 称 | 第33回全国クラブチームサッカー選手権大会四国大会 |
| 2 | 主 催 | 四国社会人サッカー連盟 (一社)四国サッカー協会 |
| 3 | 主 管 | 香川県社会人サッカー連盟 (一社)香川県サッカー協会 |
| 4 | 協 賛 | 株式会社 モルテン |
| 5 | 日 程 | 2026年8月15日(土)、8月16日(日) |
| 6 | 会 場 | 香川県総合運動公園サッカー・ラグビー場 |
| 7 | 参加資格 | 公益財団法人日本サッカー協会及び一般財団法人全国社会人サッカー連盟に登録された、第1種(準加盟を含む)のチームであって、次の条件に従う。
(1) 2026年度連盟加盟登録手続きを完了し、会費納入済みであること。
(2) 参加チームは、Jリーグ・JFL・地域リーグ加盟チーム、自衛隊・自治体職員・大学・高専・専門学校各連盟加盟チームは出場できない。
(3) 参加チームは、大学・高等専門学校・専門学校の単独チームで学校が正式に認めた「課外活動団体」は認めない。
(4) 外国籍選手の登録は、1チームにつき3名以内とする。但し、「JFAのプロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」の条件に該当する場合は、この3名を超えて登録できるものとするが、いずれの場合も、外国籍選手の登録人数の総数は、5名を超えてはならない。(準加盟チームは除く)
※同一試合には、3名が同時に試合に出場することができる。
(5) 大会参加申込期限までに、参加申込書に記載された選手。
※公益財団法人日本サッカー協会が登録を承認した選手
(6) 選手資格に疑義のある場合は、あらかじめ四国社会人サッカー連盟の意見を求める。なお疑いのある場合、一般財団法人全国社会人サッカー連盟に意見を求め四国社会人サッカー連盟がこれを裁定する。
(7) 公益財団法人日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから参加させることも可能とする。但し、適用対象となる選手の年齢は第2種年代のみとし、同一「クラブ」内の2種登録チームから選手を参加させることができる。第1種・シニアの年代の選手は適用対象外とする。但し、2種登録選手は3名までエントリーを認め、3名が出場できる。
(8) 都道府県予選から四国大会、全国大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することはできない。 |
| 8 | 大会形式 | 参加チームによるノックアウト方式にて優勝を決定する。 |
| 9 | 競技規則 | 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。 |
| 10 | 競技会規定 | (1) 競技者の数
①競技者の数:11名
②交代要員の数:7名以内
③交代を行うことができる数:7名以内
※交代回数はハーフタイムを除き、3回までとする。
④脳震盪による交代(再出場なし)の追加について
a. 1試合において、各チームは最大1人の「脳震盪による交代」を使うことができる。
b. 「脳震盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているにかかわらず行うことができる。
c. 「脳震盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは(脳震盪に限らず)いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。
d. 脳震盪で交代した選手で、脳震盪でなかったことが医師の診断書で証明できる場合に限り次戦以降の出場を認める。
e. 氏名が届けられた交代要員の数が「通常の交代」の最大数と同じである競技会(本大会)においては、交代枠を使い切った後の「脳震盪による交代」は、通常交代で退いた競技者であっても再出場ができる。相手チームにも「追加の交代要員」の再出場ができる。 |

- (2) 役員の数
チームベンチに入ることができる役員の数:6名以内
- (3) テクニカルエリア:設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1名の人が伝えることができる。
- (4) 競技者の用具
- ①ユニフォーム
- a. 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」による。
- b. ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)は、正の他に副として、正と色彩(濃淡)が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を参加申込書に記載し、各試合に必ず携帯すること。シャツの色彩は審判が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- c. シャツの前面・背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については、付けることが望ましい。
- d. ユニフォームに他のチーム(各国代表・プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- e. ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみこれを認める。尚、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。
- f. ソックスの上にテープやバンテージを巻く、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はソックスの色と同色とする。
- g. 選手番号は、ユニフォームのシャツが縞(縦縞も横縞も)の場合は、服地と明確に区別し得る色彩のものでなければならない。
- h. 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- i. 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- j. 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ②装身具:一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- (5) 試合時間
- ①試合時間:70分(前・後半35分)
- ②ハーフタイムのインターバル:原則として10分(前半終了から後半開始まで)
- ③試合時間内で勝敗が決定しない場合は、PK方式により勝者を決定する。
※延長戦は行わない
- ④PK方式に入る前のインターバル:5分
- ⑤アディショナルタイムの表示:実施する。
- (6) その他
- ①第4の審判員:任命する。
- ②負傷者の対応:主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- ③チームベンチ:ピッチ上本部からフィールドに向かって
左側・・・対戦表の上に記載されてるチーム
右側・・・対戦表の下に記載されてるチーム
マルチボール方式では行わない。

- 11 懲 罰 (1) 本大会とそれに繋がる都道府県大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、都道府県大会終了時点での退場による未消化の出場停止処分は、本大会において順次消化する。
- (2) 本大会に繋がる都道府県大会における警告の累積は、都道府県大会で消滅し、本大会に影響を及ぼさない。本大会代表決定戦での退場処分は必ず四国大会の初戦で消化する。
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手・チーム役員の警告の累積は、本大会で消滅し、全国大会に影響を及ぼさない。又、他大会にも影響を及ぼさない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手・チーム役員は、自動的に直近の本大会1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において協議し、四国サッカー協会規律・裁定委員会が決定する。

- (5) 本大会において他大会等の出場停止処分を消化する場合は、事前に書面にて大会事務局まで提出しなければならない。
- (6) 出場停止処分を受けた者は、試合が終了するまで制限される区域には立ち入ることは出来ない。
- (7) 本大会は日本サッカー協会懲罰規程に則り、大会規律委員会を設け、委員長は四国社会人サッカー連盟委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (8) 本大会の規律問題は、日本サッカー協会懲罰規程に従い、大会規律委員会で協議し、四国サッカー協会規律・裁定委員会で決定する。
- 12 参加申込 (1) 1チームの参加申込み人数は、(役員11名、選手30名)を最大とする。
 ※メンバー提出用紙に記載のこと、試合当日に役員の追加登録はできない。
 ※参加申込した最大30名の選手の中から、各試合メンバー提出用紙提出時に選手最大18名と役員最大6名を選出する。
 ※役員の内1名は監督をメンバー提出用紙に記載すること。
 ※監督が選手として出場しようとする場合は、選手に含まれていなければならない。
- (2) 参加チームは、所定の大会参加申込書、メンバー提出用紙、プライバシーポリシー同意書、クラブ申請登録選手入力シート(該当チームのみ)に必要事項を入力し下記メールアドレスにメールにて申し込むこと。
 ※参加申込書は、背番号の若い順に記入し、ポジションについてはGK・DF・MF・FWと記入すること。(フリガナは全角で入力のこと)
 ※参加申込書、メンバー提出用紙、は指定のものを使用し、エクセルファイルで送信。
 ※プライバシーポリシー同意書(サインまたは捺印したものは)PDFファイルで送信。
 ※懲罰処分(出場停止処分)対象者連絡書はPDFファイルで送信。(該当チームのみ)
 ※送信時には件名の頭に必ずチーム名を入れる事。
8月7日(金)PM10:00必着
- (3) 選手エントリー等の変更は、申込期日(時間)までに送信されたメールでのみ受け付ける。その後の変更は一切認めない。
- 13 参加料 1チーム 35,000円とし、大会初日(8月15日)メンバー提出用紙提出時に納入すること。
- 14 選手証 各チームの登録選手は、KICKOFFより写真が貼付された電子登録証の登録選手一覧表(背番号順)をプリントアウトし持参すること。
- 15 監督主将会議
組合せ抽選会 監督主将会議は行わないので、要項を熟知しておくこと。
四国社会人サッカー連盟運営委員会で決定済み
- 16 表彰 優勝チームに表彰状を授与する。
- 17 交通・宿泊 (1) この大会に参加するための必要経費は、全額参加チームの負担とする。
(2) 交通・宿泊は、全て参加チームにて手配すること。
- 18 傷害保険 大会会場において疾病・傷害が発生した場合、大会主催者側は一切の責任を負わない。参加者は健康保険証を持参し、スポーツ傷害保険等に加入していること。(一社)香川県サッカー協会は、試合会場での応急処置を行いません。救急を要する場合は、救急病院に連絡をします。不慮の状況に対しては、現場で可能な範囲で処置をします。
- 19 その他 (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為があったチームの処置については、本大会規律委員会が裁定する。
(2) KICKOFFより写真が貼付された電子登録証の登録選手一覧表(背番号順)をプリントアウトしたものを必ず試合会場に持参し、試合開始90分前に運営本部にメンバー提出用紙と共に提出し確認を受けること。
※メンバー提出用紙は、当日運営本部にて準備します。大会本部に取りに来てください。
(3) 本大会要項に違反と認められたチームについては、本大会規律委員会の決定事項に従うこと。
(6) 本大会の優勝チームは、2026年9月19日(土)～9月23日(日)福島県、Jヴィレッジで開催される第33回全国クラブチームサッカー選手権大会全国大会に参加する権利と義務を有する。※開会式兼代表者会議 2026年9月19日(土)18:30～ ※Jヴィレッジ会議室
(7) 落雷等自然災害の発生時においては、大会本部の判断により試合を中止することがある。中止された試合については再試合を原則とするが、別途定めるところにより、勝敗を決定する。

【急激な天候不順等による対応方法】

① 雷鳴があった場合は20分間の中断

② 中断中に再び雷鳴があればそこから20分間の中断

③ 中断時間の累計が60分になれば試合中止

※集中豪雨等で試合が出来ない時も中断時間の累計が60分になれば試合中止

※WBGTの数値が31以上になった場合も同様とする

【追記】

※中断後の天候に問題がないと判断した場合は10分間のアップ時間を取り試合再開とする

※アップ時間中に再び落雷があった場合はそこから20分間の中断

《中止後の勝敗の決定方法》

◇前半の途中で中止が決定した場合 → 不成立(抽選により勝敗を決める)

◇前半終了後に中止が決定した場合 → 成立(その時点での点差で決定する)

※同点の場合は抽選で勝敗を決める

- (8) 各チームは、フィールドプレーヤーのユニフォームの色と異なるビブスを2色準備
お願いします。カメラマン等がいる場合3色お願いします。
単色のアームバンド(キャプテンマーク)もチームで用意をお願いします。
- (9) 本大会要項に規定されていない事項については大会実施委員会において協議の上
決定する。

お問い合わせ先

香川県社会人サッカー連盟 委員長 渡辺克之